

さつ ま

## 鹿児島県立薩摩中央高等学校

〒895-1811 鹿児島県薩摩郡さつま町虎居1900番  
TEL:0996-53-1207<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/sachuo>

## 学校の特長

歴史的文化遺産が多く残るさつま町。霊峰紫尾山がそびえ、川内川では蜚が乱飛し、温泉地もあります。日本の産業が凝縮された町まるごと学びのフィールドとして、人・生き物・まちと関わる小さな活動の中で「生きる」をテーマに、学校で学んだ技術を活かした交流活動をととして、地域に活力を生むリーダーに必要な資質・能力を養うことができます。

特徴として、少人数指導のほか、専門学科（農業、工業、商業、家庭、福祉・看護）の科目を選択して履修できます。最高格付和牛の飼育、園芸や果樹の栽培から販売、金属加工品製作、食品加工品の企画商品化や校外での福祉介護実習などの体験活動に参加が可能です。特に、生徒自ら興味関心のある事項を取り上げて目標を設定し、実現に向けて個人やチームで課題解決学習を実践できます。また、各専門学科では資格を取得できるものもあります。

## 生徒数(今年度)

学年内訳	クラス数	生徒数 (男性/女性)	県外生徒数
1年生	4	35/23	0
2年生	4	27/26	0
3年生	4	15/26	0
合計		152	

卒業後の 進路(名)	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校	就職	その他
	0	5	2	17	24	0

※上記数字は2021年度実績です。調査時期により数字が異なることもあります。

地域みらい留学365が  
できる学科・コース

全日制・普通科

募集人数

2人

## ■地域とのつながり、地域の魅力

## 支援コンソーシアムと協働

さつま町は桜島の火山の影響はほぼなく、冬も温暖な地域です。

町にある唯一の高校が本校であり、町内の行政や事業所等で構成する支援コンソーシアムと協働し、探究活動では温泉や観光、歴史、食べ物等を紹介したガイドマップの作製やツアーガイド等のおもてなし活動を、LHRや特別活動時には先進農家やものづくり企業等での研修、選択授業では小・中学生と高校生の連携活動、課外活動ではロータリークラブとのサツマイモ栽培交流、さつま町商工会主催の「さつまdeまちゼミ」の参加やJAと共同企画である「あくりキッズスクール」などの学びを展開します。

## ■地域みらい留学生の生活

## 紫雲寮で協調性を養い、自主性を高める

高校から徒歩3分、付属農場近くに寮(男女入寮可)があります。集団生活の中で協調性を養うとともに自主性を高める場で、留学生はこの寮で生活することになります。部屋(空調あり)は2~3人での利用が原則ですが、現在は個室での利用です。奄美大島、屋久島など県内離島の生徒や県外から入学した生徒も生活しています。宿泊指導をする寮監と学習や生活のサポートを行なう本校の舎監教員が留学生の寮生活を支えます。また、学校近くには、総合病院やドラッグストア、コンビニ、温泉もあり生活しやすい環境です。

住居	生徒が負担する生活費(月額)
① 寮	住居費:月額 50,000円 食費:寮費に含む(但し、土日祝日の昼食は除く) / 光熱費:寮費に含む

※第3回説明会より参加見込みです。本ガイドブックへ記載の内容は5月時点の内容のため、今後変更が生じる場合があります。最新情報については、地域みらい留学365WEBサイトをご確認ください。

## 「地域みらい留学365」の1年

2年次は修学旅行があります。また、在籍中に取得可能な資格も受講できます。

その他にもコンソーシアムが主催するイベントや町民体育祭など地域住民と係わる機会も多くあります。

■ 受入期間内の学校諸経費や資格取得にあたり別途負担する費用  
学級徴収金 約70,000円、修学旅行費用 約80,000円

4月	始業式・1日満足
5月	中学3年生の体験授業
6月	県高校総体
7月	町ものづくり企業見学会・クラスマッチ

8月	さつま町夏祭り・小型車両系建設機械特別講習
9月	体育祭
10月	県高校新人戦 さつまdeまちゼミ
11月	上級学校見学会・文化祭

12月	収穫感謝祭・アーク溶接技能講習
1月	修学旅行
2月	-
3月	終業式

人・自然・文化が熱に溢れる薩摩の地。専門科目の選択履修や多様な地域人との交流・協働で育む「多角的な目」で未来の生き方を描く。

